豊橋市、西尾市記者クラブ同時

2025年７月８日（火）
愛知県農業水産局水産課
資源・栽培グループ
担当　長谷川、吉見
内線　3791、3790
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ　052-954-6461

夏だ！土用の丑（うし）の日だ！愛知県産「うなぎ」をＰＲ！
～知事がうなぎ料理を試食します～

愛知県は、うなぎの養殖が盛んで、2024年のうなぎ養殖生産量が全国２位です。

７月19日（土）と７月31日（木）の土用の丑の日に向け、柔らかくて美味しいうなぎの出荷が最盛期を迎えています。また、伝統的な食文化の継承に貢献できるよう、生産者はしらすうなぎ（うなぎの稚魚）を大切に育て、資源保護に取り組んでいます。

土用の丑の日を前に、愛知県産うなぎのＰＲや生産状況報告のため、生産者団体の代表が知事を訪問し、愛知県産うなぎの魅力を紹介しますので、お知らせします。

１　日時及び場所

○日時　2025年７月15日（火）　午前11時40分から正午まで

○場所　愛知県公館

２　訪問者（敬称略）

○愛知県養鰻漁業者協会

会　長　田中（たなか）　三千雄（みちお）（一色うなぎ漁業協同組合長）

副会長　花井（はない）　章浩（あきひろ）（豊橋養鰻漁業協同組合長）

○豊橋市　副市長　稲田（いなだ）　浩三（こうぞう）

○西尾市　副市長　近藤（こんどう）　芳英（よしひで）

３　内容

（１）訪問者挨拶

（２）うなぎ料理（うな重等）の試食

（３）歓談

（４）記念撮影

うな重

参考

１　土用の丑とうなぎ

うなぎは栄養価が高く、疲労回復に効くビタミンＡ、Ｂ１、ＥやＥＰＡ（エイコサペンタエン酸）、ＤＨＡ（ドコサヘキサエン酸）などが豊富に含まれている。

夏の土用の丑の日にうなぎを食べる習慣は、「丑の日に『う』の字が付く物を食べると夏負けしない」という言い伝えからヒントを得た平賀源内（ひらがげんない）の発案により、江戸時代から広まったといわれている。今年の夏の「土用の丑」は、７月 19 日（土）及び７月 31 日（木）である。

２　愛知県の養鰻業の現状

2024 年の本県の養殖うなぎ生産量は、3,782 トン（過去３年平均比 96％）である。本県生産量は全国第２位となっており、全国シェアは 23％である。本県では、西尾市、豊橋市などで、117 経営体が国の許可を受け、うなぎ養殖業を営んでいる。

2025 年漁期における、４月末時点の池入れ※1は、割当量※2の 88％にあたる 4.4 トンとなっている。

※１　池入れ：しらすうなぎを養殖池に入れること

※２　池入れ割当量：国により決められた、池入れすることができるしらすうなぎの総重量の上限

＜2024 年　養殖うなぎの生産上位県＞

	県	生産量	全国シェア
１位	鹿児島県	7,150 トン	44％
２位	愛知県	3,782 トン	23％
３位	宮崎県	2,635 トン	16％
４位	静岡県	1,791 トン	11％
	全　国	16,159 トン	－

（出典：農林水産統計 第一報）

＜養鰻業の経営体、生産量、産出額の推移＞

年		2020	2021	2022	2023	2024
愛知県経営体数		125	125	120	118	117
生産量	全国（ﾄﾝ）	16,806	20,673	19,167	18,294	16,159
	愛知（ﾄﾝ）	4,315	5,288	4,205	3,810	3,782
	全国比(%)	26	26	22	21	23
愛知県産出額(億円)		169.8	194.0	195.9	180.9	－
単価（円/kg）		3,934	3,669	4,659	4,747	－

（出典：生産量は農林水産統計、その他は水産課調べ）

３　県の養鰻振興策（県水産試験場の取組）

県水産試験場は、国立研究開発法人 水産研究・教育機構※3（以下、水研）等と協力し、しらすうなぎを人工的に生産する技術の開発に取り組んできた。1991 年には、人工的に雌にした親から採った卵のふ化に、世界で初めて成功している。近年は、雌うなぎの育成技術の開発や、人工種苗の生産に必要な餌の開発等に取り組んでいる。

2021 年度には、一色うなぎ漁業協同組合（西尾市）等と共同で、ほとんどが身の固い雄に育つ養殖うなぎを、大きくても身の柔らかい雌に育てる技術の開発に成功した。この技術で生産したうなぎをブランド化するため、「あいちの、おおきな、おいしいうなぎ」の頭文字を取って「葵（あおい）うなぎ」と命名した。

また、2021 年度に水研と共同で、従来の液状飼料よりも保存、給餌などの省コスト・省力化が可能な乾燥粉末飼料を開発した。2025 年度は、昨年度に試験規模を拡大するために整備した施設において、乾燥飼料を用いた種苗生産技術の実用化に向け、より優れた乾燥飼料へ改良するための飼育試験に取り組んでいる。

※3　国立研究開発法人 水産研究・教育機構：
神奈川県横浜市に本部がある水産分野における国の研究・教育機関

４　愛知県養鰻漁業者協会

（１）組織

・設　立：1972 年９月
・会員数：106 名（2025 年４月）
　一色支部(主に一色うなぎ漁協)：90 名
　東三河支部(主に豊橋養鰻漁協)：14 名
　海部支部　　：２名
・会　長：田中　三千雄（一色うなぎ漁協組合長）
・事務局：愛知県漁業協同組合連合会
・所在地：名古屋市中区丸の内三丁目４番地 31 号
・電　話：052-971-3501（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

（２）事業内容

愛知県産うなぎの消費拡大のための啓発普及、資源増大のための親うなぎ放流、しらすうなぎの安定確保並びに流通の適正化を図るための調査、養鰻技術向上のための支援などを行っている。